



一般社団法人（非営利）アジア自立支援機構（GIAPSA）

2024 年度事業計画書

（2024 年 4 月 1 日—2025 年 3 月 31 日）

2023 年度の事業計画の概要

2024 年度の事業予算と支出の見積もり

a) 2024 年度事業予算額の見積もり（収入の部）

2023 年度からの繰越金	1,449,145 円
2024 年度の会費、寄付金収入	3,140,000 円

計	4,589,145 円

b) 2024 年度事業費支出の見積もり（支出の部）

- 1. タイ北部メーチャンタイ村のコーヒーを中心とした
加工技術向上と山岳民族の生活向上支援 900,000 円
- 2. コーヒー販売促進支援 700,000 円
- 3. スタディツアー支援事業（3回） 600,000 円
- 4. チェンダオ女性グループ支援事業 400,000 円
- 5. その他のタイでの活動 200,000 円
- 6. バングラデシュでの小規模農民支援（未定） 0 円
- 7. その他の活動及び予備費・事務費 400,000 円

支出（予定）の合計	3,200,000 円
-----------	-------------

1. タイ北部メーチャンタイ村のコーヒーによる収入増加と生活レベル向上への支援

アカ族の村メーチャンタイ村の村民 43 戸が全戸参加し、自主的に立ち上げた農業生産者組合の持続可能な運営への支援を継続する。20221-2023 年度は当法人が 2020 年度に寄贈したコーヒー豆の焙煎機と脱穀機使用によるコーヒー豆加工のサービス料を利用者（村人）から徴収することで村のコミュニティ基金が設立され、2022 年度には年間約 200,000 バーツ（約 80 万円）のコミュニティ基金が村の福祉事業や公共の目的に利用された。2023 年度は脱穀機や焙煎機の利用が種々の理由（2023 年度事業報告書を参照）で半減したが、2024 年度は好転する可能性があり、この重要な取り組みを更に充実させ、基金の恒久的確立と持続的運営、及び有効利用を確実にする為の支援やアドバイスを継続する。

又、村の天然湧き水を利用した水道設備が古くなり、貯水槽やパイプなどの新設や修理をする必要が指摘された。村のコミュニティ基金が十分でない為、当法人からの支援が要請された。建設などに要する人件費を含む総費用の約 50%は村が負担するという事で合意が出来ている。

$$\text{合計費用 } 400,000 \text{ バーツ} \times 50\% = 200,000 \text{ バーツ} \quad (\text{約 } 880,000 \text{ 円})$$

2. メーチャンタイ村へのコーヒー販売促進支援事業

メーチャンタイ村が主体となり運営されているバンコクのコーヒー店への法人としての支援は、経理上の難しさを避けるために技術や管理経営などのアドバイスを主体とし、それに加えて、小型コーヒーの抽出機、アカ族の民芸品、サンプル用コーヒー豆の購入等を、法人の予算で実施し、コーヒー店に寄付する予定である。

$$\text{合計費用 } 160,000 \text{ バーツ} = \quad (\text{約 } 700,000 \text{ 円})$$

2024 年度は東京（原宿）に一軒、熊本市に一軒、東京小金井市に一軒、新潟三条市に一軒、合計で 4 軒のメーチャンタイコーヒーを提供するコーヒー店が日本で営業している。2024 年度は、こうした当法人の事業とメーチャンタイコーヒーのブランド化に協力してくれる日本、及びタイのコーヒー店の数を更に増やす予定である。他方、ブランド化に協力してくれ、当法人の活動主旨に賛同してくれる信頼できる商社やコーヒー豆輸入業者の発屈を継続する。

3. メーチャンタイ村へのスタディツアー支援事業

2022-2023 度実施したスタディツアーは好評で、年に 2 回（2024 年 8 月末と 2025 年 1 月中旬）に実施することで事業運営委員会で合意を得た。参加人員は各回 25-26 人、チェンライ空

港集合、解散で一泊2日とする。一回のスタディツアー 具体的な予算の見積もりは以下である。

1. 宿泊費（一泊2食付きホームステイ費用）@650 バーツ x 26 人	=16,900 バーツ
2. 昼食代（村にて）@100 バーツ x 26 人	= 2,600 バーツ
3. カルチャーダンス礼金費用	= 3,000 バーツ
4. 村人との懇親会、イベント費用	= 3,000 バーツ
5. 4輪駆動による交通費 @1,000 バーツ x 5 台	= 5,000 バーツ
6. ミニバンレンタル費用@2,000 x 3 台 x 2 日	=12,000 バーツ
7. ミニバン燃料代金@1,000 バーツ x 3 台	= 3,000 バーツ
8. 通訳礼金 @1,000 x 2 日	= 2,000 バーツ
9. 航空賃 バンコクーチェンライ（小沼とタイ人サポーター2人）	=9,000 バーツ
合計（1回の費用）	56,500 バーツ
総計（2回分） 56,500 バーツ x 2回	=113,000 バーツ
	（約 500,000 円）

4. チェンマイ県チェンダオ女性グループへの支援

チェンダオ村のアカ族の工芸品を製作する貧しい女性グループへの工芸品の販売を促進するための支援を2023年に開始した。当法人は、2024年度に、この女性グループから民芸品を買い、それらをコーヒー店に寄贈する予定である。

アカ族の民芸品買い取り代金

@20,000 バーツ x 2回	= 40,000 バーツ
	（180,000 円）

また、2024年度は年に2回（2024年6月と2025年2月）この女性グループの村にスタディツアー（参加人数一回約15人）を計画している。

予算としては一回の日帰り出張で、タイ人のサポーターと通訳を入れて

1. バンコクーチェンマイ航空賃 @ 3,000 バーツ x 3	= 9,000 バーツ
2. ミニバンレンタル@2,000 x 2台 x 2日	= 8,000 バーツ
3. 燃料費	= 2,000 バーツ

4. 通訳手数料 @ 2,000 バーツ =2,000 バーツ

合計 22,000 バーツ

2 回分 22,000 バーツ x 2 回 44,000 バーツ

(約 200,000 万円)

5. その他のタイでの活動 46,000 バーツ (約 200,000 円)

6. バングラデッシュの小規模農民への支援

2024 年度の活動は未定

7. その他の活動、予備費、事務費等

下の予算を暫定的に計上した。

1. 第 11 回持続可能な科学技術統合国際会議協賛費 20,000 バーツ

2. 国際サゴヤシンポジウム参加費' (マレーシア)
25,000 バーツ

3. その他の出張など 20,000 バーツ

合計 65,000 バーツ
(約 300,000 円)

共通経費、事務経費、予備費 100,000 円)
